



さとしょうちょう いじん さんぎょう れきし
里庄町の偉人・産業・歴史を知り、学べる場所

さとしょうちょうれき し みるぞく しりょうかん しゅうわ
 里庄町歴史民俗資料館は、昭和56年4月1日に開館しました。

げんざい
 現在は毎月第1・3日曜日(年末年始を除く)の午前9時~午後4時に開館しています。

里庄町の長い歴史の中で住民の方々が実際に使い、ともに暮らしてきた農具・民具、農村経済を潤し生活の
 支えとなっていた麦稈真田、町の産業として江戸から明治にかけて全国へ出荷されていた大原焼を多数展示
 しています。

また、町民の誇りである日本の現代物理学の父「仁科芳雄」博士、商工大臣、鉄道大臣を歴任した政治家「小
 川郷太郎」博士、お二人の遺品を集め、その顕彰を行っています。

◆ 施設のおすすめ

特徴的な外観は、古民家をコンセプトとしてデザインされました。

本館には町民の方から寄贈いただいた、今では見ることが少ない農具・民具、例えばランプや壁掛け時計、水田の
 雑草を取り除く農具、脱穀機などを多数所蔵し間近に観察することができます。

さらに、仁科芳雄博士、小川郷太郎博士が親兄弟へ宛てた手紙や愛読書、直筆の書なども展示しており、両博士が
 どういった方だったのか、その一部分を知ることができます。

また、里庄町では「仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会」や、理化学研究所の先生をお招きした「理研セミナー」の
 開催や、東西小学校の6年生を対象に模範的な生徒へ贈る「小川賞」が創設され、両博士の顕彰が行われています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

当館には、里庄町にゆかりのある資料や作品が展示されています。

仁科芳雄・小川郷太郎、両博士関係の遺品、大原焼、麦稈真田に関する品、昔使われていた生活用具、農機具など
 があります。

「里庄町には活躍された偉人がいたこと」「大原焼にはたくさんの種類があること」「昔の人は、生活道具や農機具
 をどのように使っていたのか」など見ていただいて、里庄町のことを知っていただけたらと考えています。ぜひ一度
 お越しください。



がいかん
外観の様子



てんじ
農具・民具の展示



ばっかんさなだ
麦稈真田



おおはらやき
大原焼の展示



ちゃき てつびん
茶器(鉄瓶)



おがわごう たろうはかせ てんじ
小川郷太郎博士の展示



にしなよしおはかせ てんじ
仁科芳雄博士の展示